

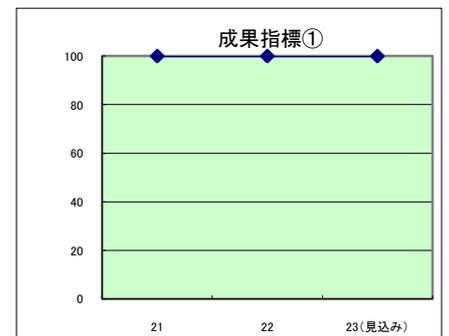
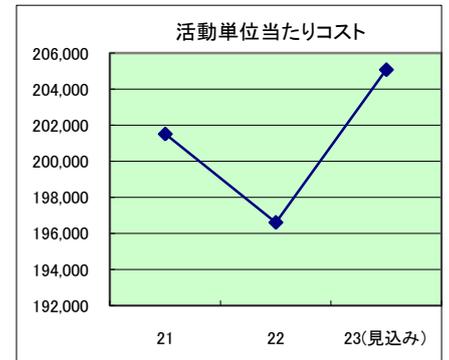
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

総財03

事務事業名		予算編成及び財政運営事務		会計	1	一般会計	
				款	2	総務費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともにつくるまち	項	1	総務管理費	
	施策(節)	3	行財政運営	目	4	財政管理費	
	施策の方向			事業	1	財政管理	
関連する計画等		財政健全化計画		作成部署	総務部財政課		
事業の対象(誰を・何を)	対象(誰を・何を)			連絡先	072-958-1111	内線 3563	
事業の目的	意図(どういう状態にしたいのか) 最小経費で最大効果を発揮するよう財源配分と予算編成を行い、健全財政維持のため中長期的な財政運営に取り組む。						
事業の内容	予算編成は毎年10月に次年度の予算編成方針を決定し、各部局に説明会を開催する。説明会1ヶ月後より各課予算ヒアリングを開始し、財政課長査定、市長査定を経て2月上旬に予算を編成し議案提出する。また、財政運営は毎年度当初に5ヶ年の財政運営計画を作成し、大阪府に提出する。決算時等、随時に収支見通しの修正を行う。						
根拠法令等	地方自治法、地方財政法他						
事業開始時期	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 34 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成	年度	
事業開始時からの状況変化	平成18年度によりやく黒字に転換したものの、依然として市財政は厳しい状況にある。平成21年度より5ヶ年の財政健全化計画のもとで、引き続き財政の健全化に取り組む。						
市民や議会の要望							
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他( )						
委託先	<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称( ) <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他			委託内容			

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)
事業費【1】	(千円)	104	80	80
人件費【2】	(千円)	17,025	16,632	17,352
職員数	正規職員	2.27 人	2.31 人	2.41 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間) 582.25 時間	462.50 時間	540.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	17,129	16,712	17,432
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)		
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	17,129	16,712
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 予算編成にかかる日数	日	85	85	85
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		201,518 円	196,612 円	205,082 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		144 円	142 円	148 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	①	実質収支の黒字化・維持達成率(式)	%	実質収支が黒字なら100%とし、赤字額があれば実質赤字比率分をマイナスする。	目標 100 実績 100	目標 100 実績 100 達成率(%) 100.0%
②	(式)			目標	実績 達成率(%)	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○										有	地方自治法第211条及び第96条による義務的な事務である。

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	市行政運営固有の事務である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	最小限の経費で効率的に予算編成事務等を行っているが、財務会計システムの高度化で、さらなる効率化の余地がある。ただし多額のシステム開発費が必要となる。
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	行政サービスの提供、行政目的の実現に不可欠の事務である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	予算書、財政健全化計画等の情報は公開されている。また、予算編成は市民ワーキンググループも作成に関与した「第5次総合基本計画」等を規範とし反映したものである。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	実質収支は黒字を維持している。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価	
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	<b>評価の理由</b> 予算編成において、現状の一件査定方式では各部課との調整が必要で、事務に長期間を要することになるが、当市の予算規模では、現在の方法が最も確実に査定が行えると思われるため、現状維持とした。また、財政運営計画は市の今後の財政の見通しのベースとなるもので、本市の財政健全化計画などにもそのデータが活用されているなど重要な役割を担っている事務の一つであり、適切に事務遂行しているため、現状維持とした。	
	<b>今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)</b> 予算編成については効果的、効率的な予算配分を行い、クォリティーの高い編成を行えるように努める。今後、超過勤務の抑制も踏まえ、システムの改修などを含めて予算編成事務のあり方を検討する必要があると考える。財政運営計画については、大阪府からの所定の様式により作成するものであり、改善改革にはなじまないものであるが、意見照会の機会があれば、積極的に意見を述べることとする。	

行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	